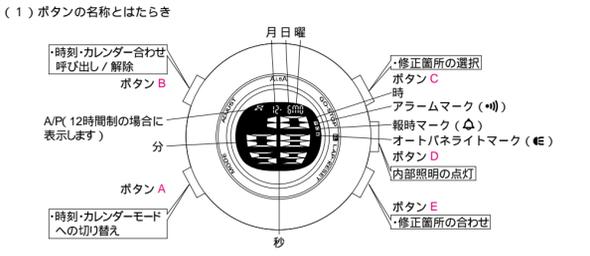


時刻・カレンダーの合わせかた



(1) ボタンの名称とはたらき

(2) 時刻・カレンダーの合わせかた

ボタンAを押して「時刻・カレンダーモード」状態にしてください。
 ボタンBを2～3秒間押し続けると「L・A・U・T・O」表示し、「onまたはoFF」が点滅し「オートパネライトの選択」状態になります。ボタンEを押すとon(セット)とoFF(解除)が繰り返し選択できます。
 ボタンCを1回押すごとに次の順序で合わせたいところ(点滅部)を選ぶことができます。
 年・月・日をセットすると「曜日」は自動的に設定されます。



ボタンCを押して「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタンEを押すと「00」に合います。秒表示が30～59秒のとき、ボタンEを押すと1分繰り上がって「00」に合います。時刻合わせは電話の時報サービス(TEL117)が便利です。合わせたいところを点滅させたあとボタンEを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。「時刻・カレンダー合わせ」が終わりましたら、ボタンBを1回押して「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。押し忘れた場合でも2～3分後には「時刻・カレンダー表示」へ自動的にもどります。

カレンダーは1997年から2046年までの年・月・日・曜がプログラムされていますので、この間、月の大小やうるう年でも修正する必要はありません。時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンCとボタンEが同時に押された状態です。その場合、ボタンA B C D Eいずれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。つぎにあらためて、上記の から合わせ直してください。

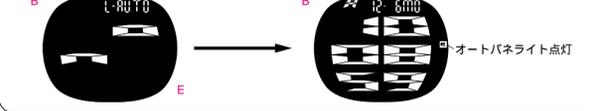
(3) アラーム音の試し聴き(サウンドデモンストレーション)と報時ならびに操作確認音のセットと解除

「時刻・カレンダーモード」でボタンCを押すごとに、報時・操作確認音のセットと解除ができます。また、ボタンCとEを同時に押し続けると「アラーム音の試し聴き」ができます。



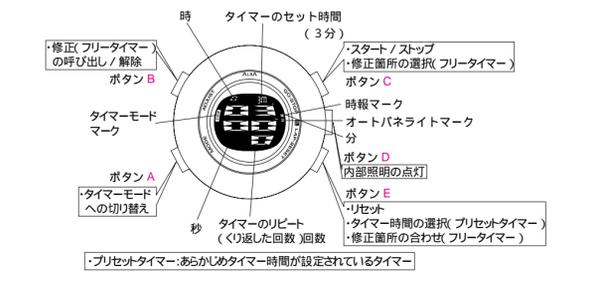
(4) オートパネライトのセットと解除

ボタンAを押して「時刻・カレンダーモード」状態にしてください。ボタンBを2～3秒間押し続けるとオートパネライト表示の「onまたはoFF」が点滅し、「オートパネライトの選択」状態になります。オートパネライトのセットと解除がボタンEを押すごとにより設定でき、onを選んで(オートパネライト機能をセット)、ボタンEを押して「時刻・カレンダーモード」にもどした場合は、oFFマークが点灯します。



タイマーの使いかた

・タイマーは3分、5分、10分、15分の4chの初期値がセットされたプリセットタイマーと、1分から9時間59分までの1分単位で設定可能なフリータイマーがあります。
 ・報時音がセットされていると1分毎にブザー音でお知らせします。
 ・報時音とオートパネライトがセットされていると、リピート回数10回以下のタイムアップ前19分間のみ1分ごとにブザー音とパネライトが点灯し、お知らせします。
 タイマーは、リピート(くり返す)機能付のためストップさせないといくり返し作動しますので使い終わったら必ず止めてください。ただし、連続計測状態でAMPMの12時00分を2回通過した時点でリセットになります。



ボタンAを押して「タイマーモード」にしてください。
 (2) プリセットタイマーの使いかた

・ボタンEを押すごとに次のようにタイマー時間が替わります。

3分 5分 10分

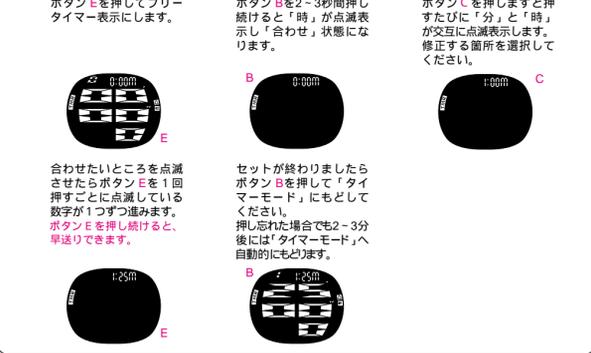
.....フリー 15分



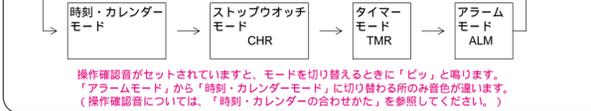
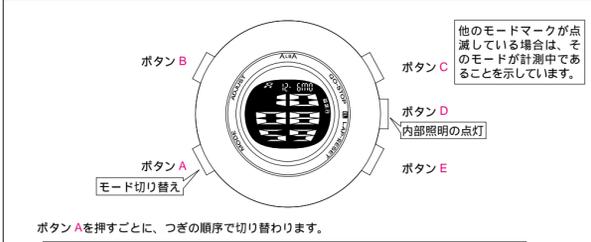
途中のストップ、再スタートは、何回でもくり返すことができます。タイムアップすると5秒間タイムアップ音が鳴り、同時にパネライトが点滅します。鳴っているタイムアップ音を止めたいときは、ボタンA、B、C、D、Eいずれか1つのボタンを押してください。タイマーのリピート回数は、99回まで表示します。以降は100(表示:00)、101(表示:01)、と順次表示します。

(3) フリータイマーの合わせかた

・フリータイマーは、1分から9時間59分までの1分単位で合わせることができます。
 例: 1時間25分にセットする場合

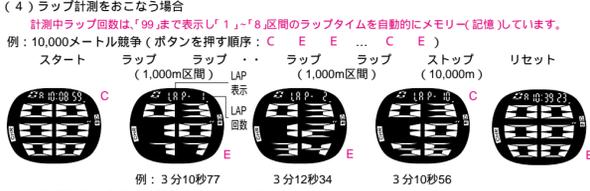
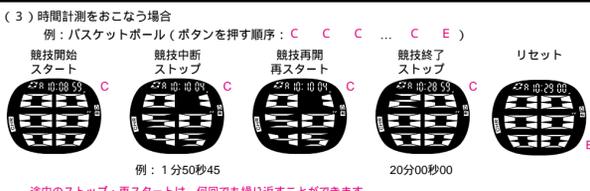
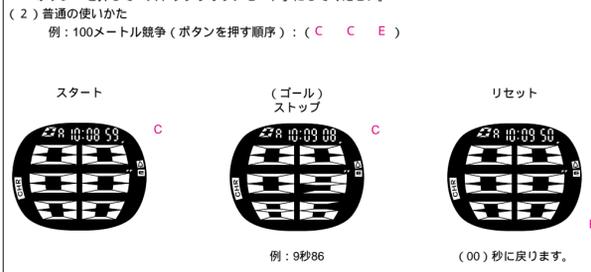
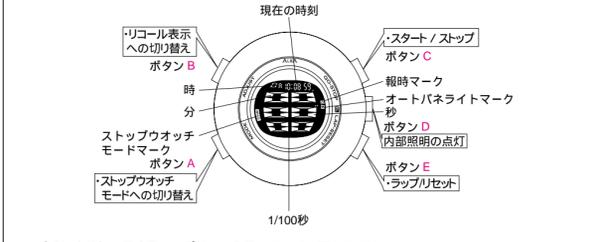


ボタンの名称と表示の切り替え



ストップウオッチの使いかた

・1/100秒単位、最大計測時間は、9時間59分59秒99です。
 ・ラップ回数は、99回まで表示します。100時間以上放置された場合は自動的にリセットします。
 ・報時音がセットされていると1分ごとにブザー音でお知らせします。
 ・報時音とオートパネライトがセットされているとスタートから19分まで1分ごとにブザー音とパネライトが点灯し、お知らせします。(オートパネライトのセットについては「オートパネライトのセットと解除」を参照ください。)



ラップ計測後、約10秒間放置しますと自動的にストップウオッチ計測表示にもどります。途中のラップは、何回でもくり返すことができます。ラップ回数は、99回まで表示します。以降は100(表示:00)、101(表示:01)と順次表示します。「ラップ」を1回以上取った後の「ストップ」は、「ラップ」として扱えます。計測中に他の表示(モード)に切り替えても正常に作動していますが、計測していない場合は電池寿命が短くなりますので作動を停止させてください。

(5) リコール(呼び出し)の使いかた

・計測途中、リセット状態のどちらでもメモリーの呼び出しができます。
 ・計測後リセットしても新しく計測しない限り、メモリーは削除されません。このストップウオッチは、最初の[1]～[8]区間までのラップタイムを自動的にメモリー(記憶)しています。メモリーしているラップタイムのリコール(呼び出し)は、次の順序でおこないます。

[計測を終了してからリコールする場合]

ボタンBを押してリコール表示にします。最初の[1]区間のラップタイムを表示します。例: 8区間以上の計測をしている場合はボタンEを押すごとに、次の区間を順に表示します。

[1] [2] [3] ... [6] [7] [8]

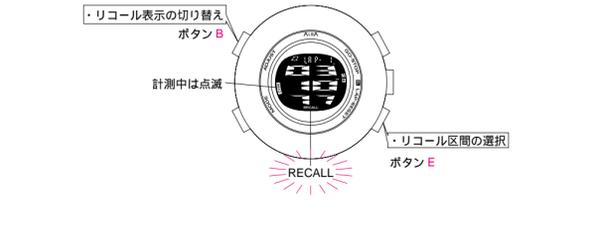
[計測中にリコールする場合]

・ボタンBを押してリコール表示にします。
 ・最新区間のラップタイムを表示します。
 8区間以上を計測している場合は、[8]区間を表示します。例: 最新区間が[8]の場合はボタンEを押すごとに次の区間を順に表示します。

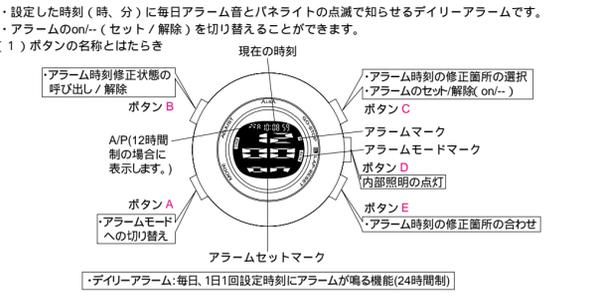
[8] [1] [2] ... [5] [6] [7]

計測した区間が未満の場合は、その最大の区間まで表示します。

例: リコール表示の切り替え



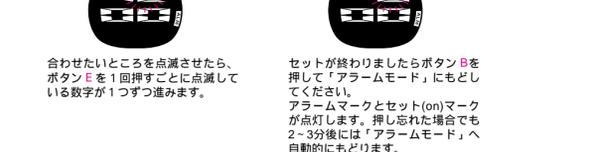
アラームの使いかた



ボタンAを押して「アラームモード」にしてください。
 (2) アラームの使いかた

ボタンBを2～3秒押し続けるとonまたは表示が消え「時」と「分」が交互に点滅表示し「アラーム時刻合わせ状態」になります。

ボタンCを押しますと、押すたびに「時」と「分」が交互に点滅表示します。修正する箇所を選択してください。



ボタンEを押し続けると、早送りできます。12時間制の場合は、AP(午前/午後)が交互に点滅表示し「アラーム表示の12H/24Hは、「時刻・カレンダーモード」の12H/24Hに連動しています。

(3) アラームを鳴らしたいとき、鳴らしたくないとき

「アラームモード」でボタンCを押すごとに、セット(on)と解除(-)ができます。(アラームが鳴ります) (アラームが鳴りません)



(4) 鳴っているアラームを止めるには

アラームはセットした時刻になると、20秒間鳴り続けます。鳴っているアラームを止めたいときは、ボタンA B C D Eいずれか1つのボタンを押してください。

